**科目名　Excel/VBA**

1. **８コマ　１６時間　１コマ/W）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **担当教員** |  | | | | |
| **科目の種類** | 専門 | **単位区分** | 必須 | **単位数** | １ |
| **授業方法** | 講義と演習 | **開講学期** | 前期 | **学年** | 2 |
| **学科・コース** | メディアコミュニケーション・スポーツ学科 | | | | |

**授業概要**

Excel の自動化で使用されるマクロを、さらに細かなコントロールを可能にする為にExcel のVisualBasic for Application を使 用したマクロの改造、自作、チューニングについて学習する。

**カリキュラムにおけるこの授業の位置付け**

　1年次で習得したExcelの応用的位置づけとなり、自動化を記録するマクロを習得するとともに、自動化の手順をプログラミングする方法をExcelに標準装備されているVisual Basic言語を使って学ぶ。

**授業項目**

1. 授業概要についての解説  
   マクロとVBAの違いについて  
   マクロの記録と実行について  
   Excelの画面操作とセルの操作方法について  
   画面上のアイコンの説明について
2. コードの記述方法について学習する  
   関数の記述の方法について（Functionプロシジャー）  
   変数の宣言と初期化について  
   セルの範囲指定とRangeオブジェクトとvalueプロパティを使った値の読み出し
3. オブジェクト、プロパティ、メソッドについて学習する  
   Excelの各要素にアクセスする方法がオブジェクトを通じて行うためにオブジェクトの種類について学習する。  
   それらのオブジェクトに対してアクセスのために提供されるインターフェイスと、状態を保存している変数であるプロパティについての解説を行う。
4. 条件判断のもとになる分岐（IF文）、多分岐（Case文）について
5. 繰り返しについて
6. 演習１　VBAを使用した罫線の描画
7. 演習２　VBAを使用した集計
8. 単位認定試験

**授業の進め方**

授業は講義に対して演習を組み合わせる形で行う。全体の授業を数回に区切り、学生にテーマを与え、ディスカッションや考察・調査を業じい、最終的にまとめを行ったうえでプレゼンを行い講師が評価を行う。評価箇所を修正したうえで、次の工程へ進める。

**授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）**

2年間の総括として、学習した内容をすべて生かしたWEBサイトの構築を行う。

**成績評価の基準および評価方法**

製作物の難易度（20%）、製作物の完成度（60%）、出席率および授業態度（20%）として評価

**教科書**

なし

**参考書**

**実務経験**

**備考**